

雑穀街道をFAO世界農業遺産に登録しましょう

賛同の呼びかけ案

雑穀街道普及会

関東山地南部の山梨県東部地域および隣接する神奈川県北部地域は、首都圏にありながらも過疎・高齢化が著しい典型的な農山村地域です。秩父多摩甲斐国立公園の周辺の美しい里山景観の中で、野生生物が豊かに生存している一方で、野生動物による食害は森林から農耕地に及んでもいます。また、耕作放棄地も拡大し、自然環境に適応して形成されてきた伝統的な山間地・里山での栽培植物の在来品種、農耕技術、それらの加工調理技術、さらに農耕儀礼など、伝統文化の継承が消滅・危急の時期を迎えています。特に、フンザと並び称された上野原市桐原地区は、穀菜食による世界的に知られた健康長寿村で、生物多様性に依拠した文化多様性も豊かに蓄積されてきた地域社会でした。しかし、この50年ほどで、生物多様性のみか、随伴する文化多様性までが過疎・高齢化の末期的状況により、著しく衰退傾向にあり、継承の危機に瀕しています。したがって、山間地・里山における生物文化多様性保全の手法を継承して、野生生物と人間が共存、共生可能な生活技能を再創造することは、自然共生社会を構築するために最重要課題です。

地球環境変動、多くの自然災害や病虫害の拡大など、現代文明は危機的状態にあります。人間社会を安定的に維持するためには、とりわけ食料安全保障が基盤であり、地域に適した在来作物の衰退を防ぎ、それら品種の保全・継承・普及に努める必要があります。

このような課題解決に向け自然共生社会を再構築するために、農山村地域の自然共生的な生活文化の基層（縄文文化の系譜、畑作伝統の温故）にある、栽培植物、雑穀、いも、野菜などの在来品種を保存継承するためのローカル・シードバンクを地域で共有する体制を進めてきました。さらに、自然共生してきた農山村社会で、栽培植物在来品種の栽培生産を維持、加工調理し、伝統食を活かしながら、新たな食品を開発して、地域経済を展開するように、生物文化多様性保全を確保する一般的手法を探求してきました（移行への知新、トランジション）。これまで50年余りの地道な成果の蓄積を発展させ、NPO法人、農業生産法人、自治体などが連携する雑穀街道協議会を組織して、FAO世界農業遺産「雑穀街道～農山村における生物文化多様性保全」の登録申請をめざします。

雑穀街道協議会（準備会） 会則

1. 名称：本会は雑穀街道協議会（準備会）と称する。
2. 目的：関東山地南部地域農山村の小規模家族農耕によって伝承保全されてきた雑穀他の生物文化多様性、山地農耕システムおよび里山景観を保全、継承するための普及啓発活動を行い、国際雑穀年2023に協賛し、あわせてFAO世界農業遺産に登録申請団体創立のために準備協議を行うことを目的とする。
3. 会員：賛同する個人会員および団体会員で構成する。会費・寄附は規定せず、任意とする。
4. 事務所は当座、雑穀街道普及会（山梨県小菅村、自然文化誌研究会／植物と人々の博物館）に置く。
5. 雑穀街道協議会（準備会）の活動：
 - 1) 雑穀ほかの栽培植物在来品種の保存、普及、および生物文化多様性を中心とする伝統的知識体系、小規模家族農耕技術を学習、啓発する。
 - 2) 関東山地南部地域の農山村において、都県境を越えて広域連携による秩父多摩甲斐国立公園周辺農山村の地域振興を図る。

3) これらをもって 2024 年春に向け FAO 世界農業遺産に登録申請のための諸準備をする。

付則

本会則は、仮のものであり、今後協議するものとする。準備会は協議会創立をもって解消する。

連絡先：・・・・・・・・・・

雑穀街道普及会事務担当幹事連絡先 木俣美樹男 e-メール：kibi20kijin@yahoo.co.jp

事務所連絡先：非営利活動法人 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 3337-2

e-メール：npo-inch@wine.plala.or.jp 電話：090-3334-5328

ホームページ：エコミュージアム日本村（トランジション小菅）

雑穀街道 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

2022 年 5 月 20 日現在

雑穀街道普及会幹事：＜事務担当幹事＞木俣美樹男、宮本透、佐野守平、玉木陸斗、富澤太郎

アドバイザー：

木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授・農学博士／民族植物学・環境学習原論）

安孫子昭二（立川市史編集委員・文学博士／縄文考古学）

藤村達人（相模原市農業委員／筑波大学名誉教授・理学博士／作物育種学、植物分子遺伝学）

会員：ABC 順

安孫子昭二（東京都日野市）

土井利彦（愛媛県大洲市、地域振興）

伊能まゆ（ヴェトナム、ホーチミン市、Seed for Table）

井上典昭（山梨県大月市）

木俣美樹男（東京都小金井市）

御園美保子（埼玉県所沢市、造園）

宮本幹江（愛媛県大洲市、地域振興）

宮本透（神奈川県相模原市、農家）

中川智（山梨県上野原市、農家）

西村俊（石川県、北陸先端科学技術大学院大学准教授）

岡部良雄（山梨県丹波山村、農家）

大野康雄（岩手県、雑穀生産研究）

佐野守平（埼玉県横瀬町、秩父まるごと博物館、雑穀自由学校）

玉木陸斗（神奈川県厚木市、芽ぐみれっと）

富澤太郎（山梨市上野原市農業委員、農家）

準備会賛同者： 順不同

亀井雄次（山梨県小菅村、エコミュージアム日本村（トランジション小菅）／ミュージアム研究会代表幹事）

中込卓男（東京都、特定非営利法人自然文化誌研究会代表理事）

中田無双（山梨県上野原市、北都留郡森林組合参事）	西沢江美子（埼玉県秩父市 秩父まると博物館 雑穀 自由学校）
小山宮佳江（神奈川県相模原市、トランジション藤野）	大野和興（埼玉県秩父市 秩父まると博物館 雑穀 自由学校）
岡部良雄（山梨県丹波山村、農家）	鹿倉朋宏（埼玉県深谷市 埼玉県立深谷はばたき特別 支援学校長）
木下稔（山梨県小菅村、水産業）	若林高子（東京都小金井市、環境省環境アドバイザー）
木下善晴（山梨県小菅村、農家）	設楽清和（神奈川県相模原市、日本パーマカルチャー センター）
中込貴芳（東京都、特定非営利法人自然文化誌研究会 副代表理事）	中谷 亨（埼玉県秩父市、秩父まると博物館 理事 長）
守屋秋子（山梨県小菅村、農家）	町田 勝一（埼玉県横瀬町役場 振興課）
中川智（山梨県上野原市、農家）	若林想一郎（埼玉県横瀬町町議会議員）
宮本幹江（愛媛県、時遊編集舎）	有賀美子
石坂真悟（山梨県小菅村、多摩川源流大学）	吉田俊郎（トランジションタウン南阿蘇）
川上香（長野県）	竹田貴大（クボタ）
宮内かおり（東京都）	久保和穂
井上典昭（山梨県、ひばりが丘高校）	田原和彦（DNP）
後藤浩成（東京都リサイクル事業協会）	関誠（東京都、公立中学校教師）
御園美保子（埼玉県、まりっか農園たんぼ部）	木下勉
倉田剛	河野翔一（國學院大学生）
渡辺隆一（長野県、信州大学）	大西崇文（神奈川県横浜市、公立中学校教員）
小林保（兵庫県、ひょうごの在来種保存会）	市丸由歩（東京都、公立小学校教師）
小柳知代（東京都、東京学芸大学）	千葉宏太郎（神奈川県、公立高校教員）
長田洋美（山梨県上野原市、NPO 法人さいはら）	西川至（東京都小金井市、元小学校長）
橋本寿美子（山梨県上野原市、ぶりゅう館）	村上伸哉（山梨県小菅村）
内山歩（山梨県上野原市、NPO 法人さいはら）	長田容子（山梨県上野原市西原）
武原美智子（山梨県上野原市、ぶりゅう館）	島津 隆（埼玉県立深谷はばたき特別支援学校教 諭）
川口信光（山梨県上野原市、農家）	森 敏昭（埼玉県立深谷はばたき特別支援学校教 諭）
川口奈緒美（山梨県上野原市、農家）	
嶋田俊平（東京都、株式会社さとゆめ）	
加藤三郎（認定特定非営利法人環境文明 21 共同代 表）	
藤村コノエ（認定特定非営利法人環境文明 21 共同代 表）	
福田恵一（東京都、公立中学校教員）	
黒澤東江（山梨県小菅村、管理栄養士）	

賛同団体：

雑穀街道普及会

特定非営利活動法人自然文化誌研究会／植物と人々の博物館

雑穀街道協議会（準備会） 賛同確認書

雑穀街道協議会（準備会）の趣旨に賛同し、入会します。

種別： 1 個人 2 団体

入会日： 年 月 日

氏名：

団体名（連絡担当者名）：

連絡先：〒

e-メール：

電話&FAX

ご意見など：